

参考資料

## 平成26年度当初予算案における主要な施策

部 局 名
警 察 本 部

# 新規事業及び重要事業総括表

## I 総額

### 【一般会計】

区分	平成26年度	平成25年度	伸び率
予算総額	139,089,371千円	139,656,274千円	△0.4%
一般会計構成比	8.0%	8.3%	—

## II 主な新規事業及び重要施策

(単位 千円)

### 1 暮らしの安心・安全を確保する

#### (1) 防犯対策の推進と捜査活動の強化

P 1	新規 警察職員の増員【警務課】	52,483
P 2	新規 大宮警察署等庁舎建設費【施設課】	466,787
P 3	新規 岩槻警察署庁舎設計費【施設課】	150,943
P 4	交番、駐在所建設費【施設課】 (債務負担行為)	20,009 (限度額 397,693)
P 5	振り込め詐欺被害防止対策の推進【生活安全企画課】	48,193
P 6	新規 サイバー犯罪対処能力の向上【サイバー犯罪対策課】	59,617

#### (2) 交通安全対策の推進

交通安全施設の整備【交通規制課】	1,441,468
人にやさしい道路交通環境づくりの推進(事故防止対策)【交通規制課】	68,918
人にやさしい道路交通環境づくりの推進(新設道路対策)【交通規制課】	738,241
倒壊危険のあるコンクリート信号柱交換経費【交通規制課】	172,421
自転車通行環境の整備【交通規制課】	32,755

## 警察職員の増員

担当 警務課  
警察本部内線 2611

## 1 目 的

県民の生活に大きな不安と脅威を与える犯罪等の警察事象に的確に対処するため、非常勤職員を増員し、安全で安心して暮らせるまちづくりのための活動体制の強化を図る。

## 2 事業の概要

## ○ 非常勤職員 16人の増員

- ・ 交番相談員 3人（396人 → 399人）
- ・ 留置管理業務専門員 1人（31人 → 32人）
- ・ 遊技機調査員 12人（皆 増）

県内のぱちんこ遊技機等の変更承認件数は増加傾向にあり、警察署の既存の体制では、遊技機の実地調査等を円滑に行いつつ、新たな形態による営業での実態把握や違法営業に対する取締りを進めることが困難な状況であるため、遊技機調査員を新規増員する。

## 3 予算額

52,483千円

## 大宮警察署等庁舎建設費

担当 施設課  
警察本部内線 2 2 7 2

## 1 目 的

老朽、狭あいが著しく、効率的な警察活動に支障を来たしているほか、耐震性に問題がある大宮警察署庁舎及び科学捜査研究所庁舎と警察本部内の鑑識課を統合し、移転改築を行う。

## 2 事業の概要

## ○ 建設地

さいたま市大宮区北袋町1丁目地内（旧三菱マテリアル総合研究所敷地）

敷地面積 約11,000㎡（隣接道路拡幅予定分1,000㎡含む）

## ○ 施設の概要

鉄骨鉄筋コンクリート造 7階建て

延べ床面積 約12,000㎡

## ○ 建設スケジュール

- ・ 平成24年度 用地取得
- ・ 平成25年度 調査設計
- ・ 平成26年度～28年度 建設工事

## 3 予算額

466,787千円

## 岩槻警察署庁舎設計費

担当 施設課  
警察本部内線 2 2 7 2

## 1 目 的

県下警察署の中で最も狭あいな庁舎で、かつ老朽化が著しく、効率的な警察活動及び来庁者サービスに支障を来たしているほか、耐震性に問題がある庁舎を改築するための調査設計を行う。

## 2 事業の概要

## ○ 建設地

さいたま市岩槻区大字岩槻地内（現在地）

敷地面積 6, 4 0 2 m<sup>2</sup>

## ○ 施設の概要

鉄筋コンクリート造 4階建て

延べ床面積 約6, 0 0 0 m<sup>2</sup>

## ○ 建設スケジュール

- ・ 平成26年度 調査設計
- ・ 平成27年度 旧庁舎解体
- ・ 平成28年度～30年度 建設工事

## 3 予算額

1 5 0, 9 4 3 千円

# 交番、駐在所建設費

担当 施設課  
警察本部内線 2272

## 1 目的

地域に密着した警察活動を行い、地域住民の安全と平穏を確保するため、交番、駐在所を計画的に整備し、治安体制の強化を図る。

## 2 事業の概要

### ○ 交番10か所の改築

- ・ 浦和警察署北浦和駅西口交番
- ・ 浦和西警察署田島団地交番
- ・ 大宮警察署本郷交番
- ・ 川口警察署芝西交番
- ・ 新座警察署栗原交番
- ・ 上尾警察署尾山台交番
- ・ 西入間警察署北坂戸駅前交番
- ・ 春日部警察署春日部駅西口交番
- ・ 越谷警察署荻島交番
- ・ 久喜警察署久喜駅東口交番

## 3 予算額

- |               |     |           |
|---------------|-----|-----------|
| ○ 初度調弁費等      |     | 20,009千円  |
| ○ 建設費（債務負担行為） | 限度額 | 397,693千円 |

# 振り込め詐欺被害防止対策の推進

担当 生活安全企画課  
警察本部内線 3011

## 1 目的

依然として、後を絶たない振り込め詐欺被害（特にオレオレ詐欺被害）を抑制する。

## 2 事業の概要

コールセンター事業者による「注意喚起架電活動（県内各家庭や金融機関に架電し、振り込め詐欺に対する注意を直接呼びかける活動）」を実施する。

## 3 事業計画

- 実施期間 平成26年6月1日から平成27年3月31日  
（土、日及び休日を含む毎日）
- オペレーター 13人体制

## 4 予算額

48,193千円

# サイバー犯罪対処能力の向上

担当 サイバー犯罪対策課  
警察本部内線 704-351

## 1 目的

サイバー空間の安全・安心を確保するため、サイバー犯罪対処能力の向上を図る。

## 2 事業の概要

サイバー空間における防犯意識の向上を図るため産官学が連携した取組や捜査員に対する教養機会の拡大、サイバー犯罪に対処するための各種資機材を整備する。

## 3 事業計画

- 産官学が連携した「サイバー空間防犯推進協議会」の設置
- サイバー犯罪対策テクニカルアドバイザーの委嘱
- 民間委託講習によるサイバー犯罪に対する捜査力・解析力の強化
- 解析用パソコン等資機材の整備

## 4 予算額

59,617千円